

# 12月定例議会

## 町政報告告白

### 町政報告要旨

#### ▼加工用馬鈴薯栽培試験の実施状況について

カルビーポテト㈱への出荷を目指した、加工用馬鈴薯の栽培試験の2年目である今年は、上向大森地区に試験場を移して試験を実施しました。

昨年は未熟のイモが多く、デンパン比重も買取基準の1・08に対して1・06と基準未達だったので、この点を課題として、鹿角地域振興局の協力を得ながら栽培試験に取り組みました。

サンプル調査を行い、Mサイズ以上が89%、デンパン比重1・08となり、イモの成熟度、デンパン比重ともに良好な結果を出すことができました。カルビーポテト㈱へ経過報告を行った際には、買取基準に到達しており良好であるとの確認を受けています。また、この品質であれば、来年度出荷契約を結んだ上で買取が可能との話がありましたが、来年度は出荷契約を結び、出荷までのルートを確認したいと考えています。

今年の結果については、目標である10アール当たり3トンに届かない見込みです。要因として、収穫を8月中旬と予定していたところ、関東方面や東北南部の台風等の影響で、カルビー㈱から借用する収穫機が使用できず、実際の収穫が9月末にずれ込み、二次成長による形質不良や疫病による廃棄ロスが多かったことが原因ではないかと考えています。

#### ▼今冬の雪対策、除雪体制について



7月26日に、「小坂町雪対策連絡協議会」を開催し、議会、自治会、警察、消防、社会福祉協議会、学校の代表から委員として出席いただき、今冬の活動方針や除雪計画を説明しました。

さらに、町内道路の除雪がスマートに進むように、国道・県道を管理している秋田県とより一層連絡を密にしていきたいと考えています。

7月26日に、「小坂町雪対策連絡協議会」を開催し、議会、自治会、警察、消防、社会福祉協議会、学校の代表から委員として出席いただき、今冬の活動方針や除雪計画を説明しました。

今年度より開始した、自治会で実施する除雪作業で生じた除雪機及び軽トラックの燃料費を引き続き実施していくほか、バス停周りの融雪やハンドガイ式除雪機購入補助や貸し出し

令和元年度第5回町議会が11月29日から12月6日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等の17議案が可決されました。

町政報告の要旨をお伝えします。

などの課題を継続して調査・研究・協議していきます。

#### ▼小坂町議会一般質問等答弁事項進捗状況調査について

第4回小坂町議会定例会の一

機材取扱業者から小型ポンプについて聞き取り調査したところ、現在使用している機種と新

路線については「小坂まちづくり株式会社」へ業務を委託し、大型除雪機の入れない狭隘（きょうあい）路線と一部町道の歩道除雪、大地自治会内については、町が直接業者及び大地自治会と契約を結び実施します。また、除雪路線・延長とも

一般的には変更はありませんが、これまで除雪車が入れなかつた路線でも、機械除雪が可能なとなつた路線については、地域の要望を聞きながらその都度対応していきます。

その後の経過は、現時点では考えていないことから、検討にはいたっていません。

#### ▼第14回ふるさと小坂会総会・親睦会について

11月23日に、「KKRホテル東京」を会場に、首都圏等在住の町出身者、町から駆けつけた参加者、来賓など総勢164名による総会及び親睦会が開催されました。

総会においては、会務・決算報告そして予算案が承認され、役員改選では、倉田正博氏が引き続き会長の任にあたることなどが決定しました。

今年度、秋田県消防操法大会に出場した上川原班は、8年連続12回目の出場で、今回は3位という成績となりました。来年度は全国大会もあることから、さらなる期待もあり、旧型で年数も経過している小型ポンプを、新型へ変えて県大会で優勝を、新型へ変えて県大会で優勝してほしいという願いから、一般質問があつたものと思つてい

ます。

親睦会では、町のPR動画を放映したほか、町出身のシェフ小林正信氏のプロデュースした料理を堪能しながら、お父様が町出身のテノール歌手安保克則氏の歌などで会場は盛り上がりました。

会場の一角には、「小坂まち